

4/26 宮原

# 75歳超医療窓口2割負担案

## 不祥事続きの財務省 国民には痛み

財務省は25日、75歳以上に限らず上の医療費を財政制度の問題で世論の厳しい批判が高齢者が医療機関で等審議会の分科会に示しました。森友公文書改ざんやは痛みを強いる姿勢です。ついで、現行の一割を2割 同省事務方トップのセクハ 同省は、安倍政権が6月た

をめぐらでは、一割負担だった70歳~74歳を20014年度から段階的に2割に引き上げました。それを受け、財務省案では、高齢者が75歳になって以降も窓口負担を2割のまま維持して事業上の値上げを行うと提起。制度改定時にすでに75歳以上になっている人にが運びなる実態がある。患者の孤立化・重症化につながる」(全国老人クラブ連合会の兼子久理事)と懸念的だ2割に引き上げます。たださす75歳以上の人する意見が出ています。

は、年金削減などで一人あたりの所得が年69万円(16

財務省は、人口の減少ペ

ースに応じて患者負担を増やす仕組みづくりも提案。

介護保険サービスについて

す。19日の社会保障審議会(厚生労働省の諮問機関)の部会では、「経済的な苦しい人は医療にかかるのは原則一割としている利

用者負担を2割に引き上げることを求めています。

後期高齢者は4月から医療保険料も介護保険料も値上げされており、耐えがたい連続負担増の押し付けを狙う同省に国民の怒りがさらば広がるのは必至です。